

<全体分析>

試験時間

120分

解答形式

記述式とマーク式の併用。

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

- ・読解総合、英作文、聞き取り、文法・語法、英文解釈の各分野から出題されている。
- ・2(A)で、「2つの主張のいずれかを選び、その主張に対する考えを、理由を添えて述べる」という問題が出題された。

その他トピックス

- ・2(B)の英訳すべき分量がかなり増えた。
- ・5は、2023年度は約800語で例年よりかなり少なかったが、2024年度は例年通り950語程度のものが出題された。

英語

東京大学（前期） 2/3

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1(A)	読解総合	「宣伝活動はかつてどう捉えられていたか」 (393 words)	英文の内容を 70～80 字で要約する問題。本文は内容的には決して難しくはないが、論点を取捨選択し、整理した形で制限字数以内に答案をまとめるのにやや苦勞する。 《出典》 Noam Chomsky, “Propaganda and control of the public mind,” <i>Chomsky on Democracy and Education</i> (2002)	標準
1(B)	読解総合	「新聞と雑誌の記事の書かれ方」 (981words (本文 836 words + 空所 14 words + 選択肢 131 words))	2023 年度同様、文補充問題 (ア) と語句整序問題 (イ) が出題された。(ア) は 5 箇所。ダミー選択肢は昨年度の 2 つから 1 つに減った。(イ) の語数は 14 語 (並べ替える要素の数は 12) と長い、難易度は標準的。 《出典》 Jeffrey Goldberg, “Introduction,” <i>The Best American Magazine Writing 2022</i>	標準
2(A)	英作文	意見論述	「人類の最も偉大な発明」についての 2 つの主張から 1 つを選択し、それに対する考えを、理由を添えて、60～80 語の英語で書くことが求められた。	標準
2(B)	英作文	和文英訳	昨年度は 1 つの段落から成る文章中の 1 文 (93 字) の英訳が求められたが、今年度は 2 つの段落から成る文章中の 2 文 (119 字) の英訳が求められた。一部、表現を工夫しないとイケない箇所があったが、とりたてて難しいものではなかった。	標準
3(A)	聞き取り	「スエズ運河で起きた出来事とその影響」 (558 words)	テーマについて解説した記事を素材とした問題。 《出典》 “How did that happen: the real story of the ship ‘Stuck in the Suez,’” <i>sbs.com.au</i>	標準
3(B)	聞き取り	「現在の配送業が抱える問題」 (541 words)	配送業の専門家をゲストに迎えた架空のラジオ番組の一部を素材とした問題。 《出典》 “Thinking Transportation. Episode 8. Hey, Where’s My Amazon Order? Promises of super-fast delivery are straining our transportation system.” (May 11, 2021), <i>Texas A&M Transportation Institute</i>	標準
3(C)	聞き取り	「パプアニューギニアにおける言語」 (524 words)	テーマについての講義を素材とした問題。 《出典》 “Papua New Guinea’s incredible linguistic diversity,” <i>The Economist</i> (July 20, 2017)	標準

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
4(A)	文法・語法	正誤問題 「心拍数に影響される時間の感覚」 (438 words)	2019 年度から続いて正誤問題が出題されている。 2024 年度の指示に「文法上または内容上の誤りがある」という文言が加わった。 《出典》 Anton Benz and Daisy Yuhas, “The Heart Can Sway Our Perception of Time,” (June 22, 2023), <i>Scientific American</i>	標準
4(B)	英文解釈	下線部和訳 「動物や人間に対して子どものころ抱いていた考え」 (323 words)	下線部は3つ。おおむね文構造は把握しやすいが、文脈の理解がないと正しく訳せない部分が含まれていた。 《出典》 Melissa Febos, “Wild America,” <i>Girlhood</i> (2020)	標準
5	読解総合	「安らぎを求めて私は歩いた」 (945 words)	2023 年度に続きエッセイ色の強い素材からの出題となった。記述式の設問としては、説明問題が2問、語句整序問題が1問出題された。 《出典》 Garnette Cadogan, “Walking While Black,” (August 25, 2016), <i>inthesetimes.com</i>	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・東大は、設問形式に毎年のように変化がある。よって、過去の多様な形式を踏まえて、さまざまな設問に取り組み、形式の変化に対応できるようにしておく必要がある。東大英語の攻略には全般的に以下のような対策をとっておかなければならない。
- ・読解に関しては、設問形式にある程度の変動はあるものの、「文脈把握力」を主に要求している点では、根本的な部分に変わりはない。要求された課題を念頭に置いて、一定以上のスピードで英文を読み解き、必要な情報をまとめる練習が有効である。また、日本語表現能力を高めることも怠ってはならない。
- ・作文に関しては、基本的な知識の正確な運用が求められている点は変わらない。今後も形式やレベルの変動があることは予想されるので、多様な形式で練習を積み、添削指導を受ける必要がある。
- ・リスニングに関しては、書き取りの練習なども取り入れ、基本的な聞き取り能力を養うことに加え、過去問演習を通して情報を整理しながら話の展開をつかむ力を養うようにしよう。